

ポデーガードの特長

2成分で高い除草効果

ノビエをはじめとした一年生雑草から、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイなどの多年生雑草に対し高い効果を示します。また、新規成分テフリルトリオンとフェントラザミドの2種混合剤なので、減農薬栽培にも適しています。

抵抗性雑草にも有効

近年問題となっているスルホニルウレア抵抗性雑草(ホタルイ類、アゼナ類、コナギ等)に対しても、新規成分テフリルトリオンが優れた活性を示します。

難防除雑草、特殊雑草にも有効

本剤は難防除雑草(セリ、オモダカ、クログワイ等)にも有効です。また、イボクサ、アシカキ、エゾノサヤヌカグサ、クサネム、アメリカセンダングサ、タウコギ等の特殊雑草に対しても効果があります。

白化症状を示し、殺草スピードが速い

薬剤処理後に雑草が白化作用を呈するので、効果の確認が容易です。また、異なる作用の両成分の共力作用で、殺草スピードが速くなります。

長期間雑草の発生を抑える

各種雑草に対して約40~50日間の残効が期待でき、通常の圃場条件では一回の散布で雑草を防除できます。

水稻に対する安全性が高い

水稻に対する選択性が高く、通常の圃場条件下で安心して使用できます。

有効成分の物理化学性と安全性

有効成分含有率	テフリルトリオン(AVH-301) 3.0%	フェントラザミド(NBA-061) 3.0%
化学名	2-[2-クロロ-4-メチル-3-[(テトラヒドロフラン-2-イルメトキシ)メチル]ベンゾイル]シクロヘキサン-1, 3-ジオン	4-(2-クロロフェニル)-N-シクロヘキシル-N-エチル-4,5-ジヒドロ-5-オキソ-1H-テトラゾール-1-カルボキサミド
構造式		

製剤の安全性

人畜毒性: 普通物 (「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指していう通称)

経口(ラット♀) LD₅₀ > 2,000mg/Kg 経皮(ラット♀) LD₅₀ > 2,000mg/Kg

魚毒性: コイ LC₅₀(96h) > 1,000mg/L オオミジンコ EC₅₀(48h) 370mg/L

表4

適用雑草と使用方法

農林水産省登録: 第22612号 (2014年8月現在の登録内容)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	使用回数*	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 および マツノイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) ミスガヤツリ(北海道を除く)	移植時 移植直後~ノビエ3葉期 (東北は2.5葉期まで) ただし、 移植後30日まで	壤土 と 埴土	1kg/10a	本剤 1回 テフリルトリオン 2回以内	田植同時 散布機で施用	全域(北海道、 北陸を除く)の 普通期栽培地帯
	ウリカワ ヒルムシロ セリ クログワイ(北海道を除く) オモダカ エゾノサヤヌカグサ(北海道) シズイ(東北) コウキヤガラ(関東・東山・東海・九州)	移植後5日~ ノビエ3葉期 (北海道、東北は 2.5葉期まで) ただし、 移植後30日まで	砂壌土			北海道、北陸、 関東・東山・東海、 近畿・中国・四国、 九州の 早期栽培地帯	
直播水稲	水田一年生雑草 および マツノイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ	稲1葉期~ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで	壤土 と 埴土		フェントラザミド 1回	湛水散布	全域の普通期 および 早期栽培地帯

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、移植水稲についてはノビエの3葉期(北海道、東北は2.5葉期)まで、直播水稲については稲1葉期からノビエの2.5葉期までは時期を失わないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、エゾノサヤヌカグサ、ウリカワは2葉期まで、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生ものまでには十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。また、オモダカ、クログワイ防除は、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて連年施用することにより、さらに効果が向上します。
- 散布の際は、水の出入りを止め湛水状態(水深3~5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。稲葉に湛水や浸水での使用は避けてください。
- 散布後3~4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は湛水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 葉積れ、浮き苗が生じないように、代かき、お平化及び種付け作業は行わないでおこなってください。未熟有機物を使用した場合は、特に注意しなくてはいけません。
- 以下の条件では葉害を生ずるおそれがあるので使用を避けてください。
 - ①砂質土壌の水田及び湛水田(湛水深2cm/日以上)
 - ②軟弱苗を移植した水田
 - ③移植後湛水の水田及び浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合は、葉害を避けるため稲の1葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用は避けてください。
- 処理後に暑い気温が続くことが予想される場合は、生育抑制などの葉害を生じることがあるため処理時期を遅らせてください。
- 暑い多用条件では除草効果が低下する場合がありますので使用を避けてください。
- 散布田の田面水を他の作物に運来しないでください。
- 本剤は、移植前に生育したミスガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育前に隣接田で使用するには十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は異常気象の場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室 ☎0120-575-078

(9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝日を除く)

(L3-3036 14.08.15)



表1



ポデーガード

1キロ粒剤

2成分。白く枯らして、稲を守る。







© バイエルグループの登録商標